

お客様各位

釧路信用金庫

平成 24 年度地域密着型金融の取組について

平成 24 年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業期・新事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は 25 件、217 百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開での支援では①製造業者が設備を新設した際の経営診断書の作成②医療事業者が新たに設備を新設した際の事業計画策定支援③太陽光発電事業に進出する個人事業主及び個人向け専用ローンの新設（25 年 2 月 1 日発売開始、2 件、9 百万円）④飲食業者の新店舗出店に伴う事業計画策定支援⑤医療事業者が新規事業として外来クリニックを開設した際の事業計画策定支援等となっております。
- ◎平成 24 年度におきましても、地元商工会議所と連携した無担保・第三者保証人不要の制度資金「釧路活性化貸付」の取組を継続実施いたしました。
〈24 年度末残高 5 件 7 百万円〉

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組をしました。
 - ・ JR 北海道との海外販路開拓商談会の開催（釧路総合振興局との共同開催）
 - ・ 東アジアに向けた「北海道ブランド」発掘釧路商談会の開催（同 上）
 - ・ JR 帯広駅における「エスタ帯広 エキ市場」への協力
 - ・ 北海道技術・ビジネス交流会（ビジネスエキスポ）への出展助成

(3) 経営改善期における支援

- ◎企業支援グループと営業店が連携した企業支援活動
企業支援リストアップ先数 60 件 債務者区分ランク維持 52 件（維持率 87%）
審査部に設置されている企業支援グループや営業店が中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。
- ◎中小企業支援ネットワーク強化事業の活用
当金庫の支援担当者のコンサルティング能力向上を図るために、独立行政法人中小企業基盤整備機構の地域ネットコーディネータの方をお呼びし、中小企業支援ネットワーク強化事業の内容や経営戦略策定支援等についての研修を行いました。

(4) 事業再生期における支援

◎中小企業再生協議会の活用等

中小企業再生協議会への1件の案件持ち込みを行っているほか、説明会への参加、個別相談会における情報交換などにより連携を深めています。また、事業再生手法の研究および事業再生に向けた的確なアドバイスができる人材の育成にも努めています。

(5) 事業承継期における支援

◎独立行政法人中小企業基盤整備機構と連携して事業承継個別相談会を開催し、事業承継に課題を抱える企業への支援を行いました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組

◎地域経済の面的再生に向け、以下の取組を推進しました。

- ・釧路総合振興局との包括連携協定に基づく商談会等を開催した他、同局が推進する「くしろ地域ブランド検討委員会」へ委員を派遣しました。
- ・北海道発明協会（北海道経済産業局からの受託事業）との連携により、弁理士を講師とした融資担当役席者向け知的財産勉強会を開催しました。
- ・北海道中小企業家同友会釧路支部が主催する幹部大学や釧路明輝高校就職講演会へ講師を派遣しました。また、当金庫中堅職員研修会に同会の会員企業の経営者を講師として招聘しました。
- ・北海道立総合研究機構食品加工研究センターと連携し「食品加工研究セミナー及び個別相談会」を開催しました。
- ・阿寒観光ブランド協議会が推進する「地域発信型阿寒観光ブランド構築事業」に委員を派遣しました。
- ・北海道コカ・コーラボトリング㈱と釧路市教育委員会が主催した「くしろキッズタウン2012」に「釧路しんきんキッズタウン支店」として参加すると同時に、企画段階から協力しました。
- ・釧路工業技術センターに週1回、中小企業診断士を派遣し、相談業務を行いました。
- ・釧路商工会議所が開催しました「経営相談会」に相談員を派遣しました。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

◎地域の活性化に向け、以下の取組を推進しました。

- ・釧路市の女性団体チャイルズエンジェルが行っている「キリンを贈ろう」活動に賛同し、「キリンを贈ろう応援キャンペーン」として、定期預金、定期積金のキャンペーンを実施しました。
- ・釧路工業高等専門学校、釧路商工会議所で金融教育を実施しました。
- ・お取引先に対して各種補助事業などの情報提供、及び支援を行いました。
- ・釧路しんきん地域貢献助成制度において、従来の「新技術奨励賞」と「地域貢献奨励賞」に加えて、「地域のブランド化推進奨励賞」と「学生研究奨励賞」を新設し、以下

の1企業6団体2名を表彰しました。

【新技術奨励賞】

㈱ニッコー 様

微粉碎氷を水と混合して箱などに注入し、氷と水が対象物を覆いつくした後に水のみを抜き取る「アイス・インジェクションシステム」を開発しました。これにより農産物等の鮮度保持期間を大幅に延ばすことが可能となりました。

【地域貢献奨励賞】

くしろ橋南西ゆめこい倶楽部 様

釧路発祥の地である橋南西部地区の歴史や環境、港、食、建物などを「伝える」「つなげる」「育てる」ことを柱として、パラソルショップ等の各種イベントの企画立案、及び実施等を行い地域の活性化を図っています。

タンチョウ コミュニティ 様

タンチョウとの共生を目的に鶴居村の酪農家や学校、任意団体と連携して「タンチョウのえさづくりプロジェクト」を実施、種まきや収穫には小学生も参加し、今後のタンチョウ保護のあり方等を学ぶ体験学習の場にもなっています。

市民による釧路市財政の理解を深めるための研究会（市財研） 様

市民、学生、自治体職員等が市の財政状況を自主的に研究して理解度を深め、「市民による釧路市財政白書」を作成し、ひいては将来世代への財政負担の軽減等、責任ある行動による街づくりを目的に活動しています。

【地域のブランド化推進奨励賞】

くしろザンギ推進協議会 様

ご当地グルメイベントの開催や「くしろザンギ食べ歩きマップ」の作成、大手チェーン店での当会監修の商品発売等を通じて「釧路発祥のザンギ」を広く地域内外へ発信し、地域活性化に貢献しています。

ご当地ブランドフェスティバル実行委員会 様

釧路地域ブランドの推進をテーマに「ご当地ブランドフェスティバル in 釧路町」を開催、ご当地グルメや物産品等を集め、来場者は地域ブランドに「見て、触れて、買える」ことができ、地域ブランドの浸透に貢献しました。

【学生研究奨励賞】

釧路公立大学 神野ゼミ 様

研究テーマ「通商政策が地域経済に与える影響—日本のTPP 参加問題を題材にして」各種試算の再検討により日本のTPP 参加の影響を再検討すると共に、自由貿易をめぐる経済学説も再検討することでTPP 参加による北海道経済への影響を検討し、今後の地域経済の在り方を研究しています。

釧路工業高等専門学校 電子情報システム工学専攻 斉藤 直輝 様

研究テーマ「拡張現実感（AR）を用いたスマートフォン向け釧路観光アプリケーションの開発」釧路の観光促進を目的に、普及が著しいスマートフォン向けアプリケーションを開発。夕日の記念撮影や和商市場勝手井の割引クーポンの入手等の機能を、JC 釧路や釧路和

商協同組合の協力を得て開発します。

釧路工業高等専門学校 建設・生産システム工学専攻 金子 大輝 様

研究テーマ「木造住宅の床性状が耐震性能に及ぼす影響~CAE を用いたシミュレーション解析~」
木造住宅の床組性状の違いが耐震性能にどんな影響を及ぼすか、CAE を用いたシミュレーション解析により明らかにすることを目的に、2 階建住宅の簡易モデルを構築し、3 種類の異なる床組を組み込んだケースのシミュレーション解析を行います。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎釧路市立美術館「釧路信用金庫カレンダー原画展」の開催

釧路市生涯学習センター「まなぼつと幣舞」にあります釧路市立美術館の協力により、当金庫のカレンダーで使用した、地元作家を中心とした原画 13 点を、歴代のカレンダーと共に展示いたしました。

◎ディスクロージャー誌、PR 誌による積極的な情報発信

平成 5 年より「ディスクロージャー誌」を、平成 21 年度よりお客様向け小冊子「MY しん（まいしん）」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。

◎ホームページによるタイムリーな情報発信

商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をよりわかりやすく発信し、使い勝手の良いホームページにすることを目的に、全面的にリニューアルしました。

以 上

平成24年度 地域密着型金融の取組について

平成24年4月～平成25年3月

釧路信用金庫

目 次

「地域密着型金融の推進計画」の位置付け	— 1
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	— 2
2. 地域の面的再生への積極的な参画	— 2
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信	— 2
4. 平成24年度 経営改善支援等の取組実績	— 3

「地域密着型金融の推進計画」の位置付け

経営理念

この地域(まち)を愛し、豊かな未来(あす)を創造します。

中期(3ヵ年)経営計画(24年4月～27年3月)

テーマ「釧路しんきん『深めるきずな』2012」

基本方針「原点回帰と新たな成長への挑戦」

重点課題

1. 経営基盤の強化

- (1)収益力の強化
- (2)地域を支える信用金庫人の育成
- (3)内部管理態勢の強化
- (4)経営効率の向上

2. 独自性のさらなる発揮

- (1)高密度経営の徹底
- (2)地域主体との連携強化
- (3)コンサルティング機能の強化
- (4)地域貢献への取り組み

地域密着型金融の推進

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

- (1)創業・新事業展開期における支援
- (2)成長期における支援
- (3)経営改善期・事業再生期における支援
- (4)事業承継期における支援

2. 地域の面的再生への積極的な参画

- (1)地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組
- (2)地域活性化につながる多様なサービスの提供

3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信

- (1)ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信
- (2)ホームページによるタイムリーな情報提供

釧路しんきんの地域密着型金融

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

[創業期における支援]
[新事業展開期における支援]
◎創業資金のご融資
◎事業計画策定支援
◎補助事業等申請支援など

[成長期における支援]
◎商談会等販路拡大支援
◎海外販路拡大支援など

[経営改善期における支援]
[事業再生期における支援]
◎企業支援グループと営業店
が連携した企業支援活動

[事業承継期における支援]
◎セミナー開催等による意識
向上への取組
◎個別相談会の開催など

日常的・継続的取引を通じた経営目標や課題の把握・分析

[地域全体の活性化
同時的・一体的な「面」的再生への取組]
◎釧路総合振興局との包括連携協定
◎釧路工業技術センターへ中小企業診断士派遣
◎中小企業家同友会釧路支部との業務協力協定

[地域活性化につながる多様なサービスの提供]
◎金融教育の実施
◎釧路しんきん地域貢献助成制度
◎各種補助事業などの情報提供、及び支援

地域の面的再生への積極的な参画

地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎ディスクロージャー誌の発行による情報発信
◎PR誌「MYしん」の発行による情報発信
◎ホームページによるタイムリーな情報提供

平成24年度 経営改善支援等の取組実績(平成24年4月～平成25年3月)

(単位:先数)							(単位:%)		
		期初 債務者数 A	うち 経営改善支援取 組み先数 α	α のうち期末に 債務者区分がラ ンクアップした先 β	α のうち期末に 債務者区分が変 化しなかった先 γ	α のうち再生計 画を策定した先 数 δ	経営改善支援 取組み率 α / A	ランクアップ率 β / α	再生計画 策定率 δ / α
正常先 ①		8,131	4		4	1	0.0%		25.0%
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	377	46	－	39	18	12.2%	－	39.1%
	うち 要管理先 ③	4	1	－	－	1	25.0%	－	100.0%
破綻懸念先 ④		99	9	－	9	3	9.1%	－	33.3%
実質破綻先 ⑤		53	－	－	－	－	－	－	－
破綻先 ⑥		29	－	－	－	－	－	－	－
	小 計 (②～⑥の計)	562	56	－	48	22	10.0%	-	39.3%
合 計		8,693	60	－	52	23	0.7%	-	38.3%

(注) ・期初債務者数及び債務者区分は25年3月末時点のものです。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。